

外国語科学習指導案

石川県立鹿西高等学校・教諭

指導日時・教室 平成20年9月9日(火) 4限目 教室名 31H

対象生徒・集団 普通科3年生 17人(内訳31H 17人)

科目名 ライティング (単位数 4)

使用教科書 EXCEED English Writing (出版社名 三省堂)

1 単元名 Lesson 36 職業選択の理由

2 単元の目標

- (1) 理由を述べる際の表現を用いた英文を書くことができる。【表現の能力】
- (2) 「理由の表現」を用いた英文を用い、将来の職業について書いたり、話したりすることができる。【関心・意欲・態度】

3 指導にあたって

(1) 生徒の状況

全般に素直で授業態度も概ね良好であるが、受け身になりがちである。ライティングにおいては、与えられた語句や表現を用いた基本的英文を書くことができるが、ある一定の表現を用いて自己について述べることを不得意とする生徒が多い。

(2) 指導方針・方法

復唱、パターンプラクティス等の口頭練習をした後、その基本表現を用いた多くの英文を書く練習を行い、ライティングに必要な基本表現習得の徹底を図る。その上で、身近な話題および時事に関して表現する能力を育成するため、スピーチ、プレゼンテーション等の機会を設け、より実践的な英文を書く練習をする。

(3) 教材選定の理由

文型・文法項目が各課で明示され、段階的に学習できるよう配慮されている。また、図解や写真を使った説明や問題も多く、取り組みやすい内容である。文法基礎の定着からまとまりある文章を書くことで自己表現力を高める構成になっており、自分の意見や考えなどを英語で表現する能力を育てるのに適切な教材である。

4 単元の指導計画(総時数4時間)

第一次 「理由の表現」の習得(1時間)

第二次 「理由の表現」を用いた英作文演習と職業に関する語彙習得(1時間)

第三次 ディクテーションとスピーチの練習(1時間)・・・本時

第四次 スピーチとまとめ(1時間)

5 本時の学習（総時数 4時間中 第3時）

(1) 本時のねらい

① 理由を述べる際の表現を用いた英文を書くことができる。【表現の能力】

② 「理由の表現」を用いた英文を用い、一定のテーマについて話したり、聴いたりすることができる。 【関心・意欲・態度】

(2) 準備・資料等 評価シート（C-2参照）

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】
5分	導入 (表現の確認)	本時に用いる語彙と表現を復唱する。	日本語で各語彙と表現を提示し、生徒に復唱させる。	
10分	英作文①	将来の職業に関するスピーチのディクテーションをする。	スピーチを音読する。	
		書き取った英文を読む。 文の構成を確認する。	生徒にスピーチを読ませながら、説明する。 スピーチの構成について解説する。	
15分	英作文② (スピーチ)	〔グループワーク〕各自がスピーチを行い、級友はその内容を書き取り、スピーチを評価する。	各グループを指導、助言する。	「理由の表現」を用いた英文を用い、一定のテーマについて話したり、聴いたりすることができる。 【関心・意欲・態度】
15分	英作文③	級友のスピーチに関するコメントを参考に、各自が原稿を校正する。	個別に指導する。	理由を述べる際の表現を用いた英文を書くことができる。 【表現の能力】
5分	まとめ	スピーチの要点を理解する。	生徒のスピーチについて講評する。	